

古代漆喰 外装用



1.5mm厚/約10m²

○究極の漆喰の誕生

石灰は古代や中世において、建築文明や芸術の素材として極めて重要な役割を果たしました。5千年前が漆喰の起源と言われ、古代ギリシャや、ローマ時代には使われていたことはアクロポリスの神殿や、ポンペイの遺跡からも立証されております。石灰技術の素晴らしさは、古代ヨーロッパ建築が数千年変わらぬ美しさを保っていることからわかるように、優れた性能と実績を持っていることを証明しております。

古代漆喰は、石灰の持つ能力をいかし、**長期間熟成**させることで、日本古来の海藻糊を使った漆喰とは違った**白く、硬い**永遠の生命力に富んだ世に誇るべき**究極の練り漆喰**です。

上塗り用の上級品。外部での使用を目的とした上塗り材で、海藻炊き糊と「城かべ油」を混入したタイプです。炊き糊により作業性が良く、吸水率が低いことから高い防水効果が得られます。

○施工ポイント

- ※ 製品は練り状ですが、使用前に再度混練してください。「**城かべ**羽根ミキサー」を利用すると安易に攪拌できます。
- ※ 下地は、モルタル・中塗土・石膏プラスターなどの下地に施工可能ですが、下地処理には「**城かべシーラー**」を使用し、「**城かべ中塗り**」砂漆喰で中塗りを行ってください。
- ※ 「**古代漆喰屋根・中塗り**」を中塗りに使用する場合は、上塗りは追い掛けで仕上げてください。
- ※ 亀裂対策として、「**城かべネット**」「**ジョイントネット60**」をご利用ください。
- ※ 押えは水が引くまで金鋺で十分に行い、プラスチック鋺を使用する場合は、最後の仕上げとして使用してください。

○試験結果

安定性試験 (JIS-A-6902)	表面硬度 (JIS-A-6904、6908)	接着強度 (JIS-A-6909)	耐候性試験 (JIS-A-5400ウェザーメーター)	凍結融解試験 (-30℃~80℃10サイクル)
合格	25.0	2.8kgf/cm ²	異常なし	異常なし



大阪城 古代漆喰外装用使用

○注意事項

- 古代漆喰は、糊材をバランスよく配合しております。糊材の追加は避け、硬い場合は、少量の水を追加しよく攪拌してください。
- すさ材・骨材の追加は可能です。
- 鋺伸びが良く、鋺押えがおろそかになります。鋺押えは十分に行ってください。
- 施工その他ご不明の点は、お問合せください。

漆喰壁・土壁を通じ、住む人の健康と安全を守ります。

 **近畿壁材工業株式会社**

<http://www.kinkikabezai.com>

656-1521 兵庫県淡路市多賀2150
TEL0799-85-1147(代) FAX0799-85-2030
e-mail info@kinkikabezai.com